

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	82	77	72	66	60	86
実績(見込)値1(B)	82	77	72	66	60	
経済危機対策影響額 (C)						
実績(見込)値2(D) (B－C)	82	77	72	66	60	
乖離値1(E) (A－B)	0	0	0	0	0	26
乖離率1(F) (E／A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.2%
乖離値2(G) (A－D)	0	0	0	0	0	26
乖離率2(H) (G／A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.2%

[illegible]

(iii)実績(見込)値1が計画目標値に届かない理由

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

団体名	南陽市
会計名	農業集落排水事業特別会計

② 実質公債費比率

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成21年度単年度実質公債費比率算出係数			
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因
地方債の元利償還金				
準元利償還金				
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源				
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金				
標準財政規模				
単年度実質公債費比率				

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成22年度単年度実質公債費比率算出係数			
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因
地方債の元利償還金				
準元利償還金				
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源				
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金				
標準財政規模				
単年度実質公債費比率				

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成23年度単年度実質公債費比率算出係数			
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因
地方債の元利償還金				
準元利償還金				
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源				
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金				
標準財政規模				
単年度実質公債費比率				
実質公債費比率				

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

(i) 推移表

(单位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	-	-	-	-	-	-
実績(見込)値(B)	-	-	-	-	-	
乖離値(C) (A-B)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乖離率(D) (C/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

[illegible]

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

団体名	南陽市
会計名	農業集落排水事業特別会計

④ 改善額

(i) 推移表 (単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	0.839	1.035	1.142	1.246	1.347	5.609	3.737
実績(見込)値(B)	0.631	1.008	1.142	1.246	1.347	5	
乖離値(C) (B－A)	▲ 0	▲ 0	0	0	0	▲ 0	1.6
乖離率(D) (C／A)	-24.8%	-2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-4.2%	43.8%

(ii) 要因分析

改善額合計の 未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計	
使用料収入 の減	0.417	0.375				0.792	
法適用による 打ち切り決算の ため未収金の 増による収入 減		0.188				0.188	
合計						-	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

平成20年度は改善額の達成が 0.027百万円(27,000円)届かなかった。

理由としてあげた、法適用のため、3月31日打ち切り決算となり、出納閉鎖期間が無かったことから、納期限に支払された分の会計収入が4月1日以降となるなどで決算後188,000円の収入があった。

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

農業集落排水事業単体では、改善が図られないことから、平成21年度から、法適用の事業として、下水道事業会計と一緒に会計で経営することとした。

今後は、下水道事業全体での改善額達成が図られる見通しである。

団体名	南陽市
会計名	農業集落排水事業特別会計

⑥ 累積欠損金比率

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A－B)						
乖離率(D) (C／A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)	
	計画目標値算出時(A)	実績見込値算出時(B)
分母(営業収益等)		
分子(累積欠損金)		
累積欠損金比率		

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考
合計	-	

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因
	計画目標値(A)	実績見込値(B)		
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
合計			-	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

団体名	南陽市
会計名	農業集落排水事業特別会計

⑦ その他

(i)計画及び執行状況の公表状況

(ii)計画及び執行状況の議会への説明